

テーマ

子どもも大人も生き生きできる地育・共育活動の創造

目標

豊かな心を育み、たくましく生きる力を持った子どもの育成をめざす学校支援活動の促進と地域全体で展開する教育環境の整った美しく、安全・安心なまちづくり。

今年度の取組紹介

第2回「防災フェスタ in 富南」は、昨年度をはるかに多い参加者800名を越える「防災フェスタ in 富南」となり、幼小中の教師、各PTA、地域とが一体となって協働する場を持ちました。特に今年度は出店ブースを設置し、あらゆる団体の模擬店も出されました。どのブースも大盛況で長蛇の列になりました。また、中学生作成のユルキャラ「とみにゃん」により幼小中の子ども達に協議会の存在をアピールし、マスメディアによる広報もできました。「防災フェスタ in 富南」は、地域防災意識とスキルの向上を図ることができ、継続開催が決定しています。来年度も12月開催予定です。



更に中学生、PTA、協議会のコーディネーターが、合同で「地域防災リーダー養成研修」を実施し、より地域防災の連携を深化させることができました。また提言に基づいたコミュニティールーム開設の準備も進み、事務局・コーディネーター・PTAが協働できる拠点ができました。地域のネットワークづくりを推進するとともに、防災マグネットの作成やホームページのリンクを充実させ、広報活動を活発に行いました。

今年度のまとめ

第二回「防災フェスタ in 富南」を開催し、協力団体32、参加者800名を越える参加を得て、学校・地域が協働して防災意識を高め、訓練を充実させる取組ができました。協議会のユルキャラ「とみにゃん」も設定され、協議会が地域に広く認知され、浸透しやすくなりました。中学生と地域とPTA合同で防災リーダー育成研修を開催し、継続開催される「防災フェスタ in 富南」の充実と実践力の育成を開始しました。地域の特色ある取組としICTアシスタント事業や特別支援サポート・国際理解サポート事業が実施できサポート事業が広がりました。

来年度に向けて

各校園での地域人材を活用した取組は活発に行われていますが、ボランティア登録数はまだ少なく、今後全体として活用の交流を図るだけでなく、近隣協議会とのボランティアを共有することで、学校現場のニーズに応じたサポート体制を作ることが課題です。更に地域全体としての絆を深めていくために、防災フェスタを継続開催することで地域に根付かせ、「安全・見守りネットワーク」だけでなく多岐にわたるネットワークを構築することです。また、新設されたコミュニティールームが地域の情報発信の場として今後もひろがりを期待したいところです。

テーマ

めざせ！つなごう！それぞれの夢！

目標

ハートフルディ・体験学習の充実を図る。
地域の人との交流を通し、地域を実感し、大人から学ぶ。
自主的に創りあげ、達成感を味わえる文化発表会・体育大会に。

今年度の取組紹介

○ キャリア教育（福祉体験・職場体験事前学習など）や栽培実習の講師、情報・英語の授業補助、特別支援講師、国際理解支援、等、地域ボランティアの活用が広がり、生徒との交流も深まってきました。

○ 「防災フェスタ in 富南」に積極的に参画し、ユルキャラづくりや準備、運営まで地域の方と協働することができました。更に生徒会を中心に PTA や地域の方と共に防災リーダー研修を受け地域防災のあり方を共に学ぶことができました。幼小中学校の連携としては、職場体験、教員の小学校見学会、生徒会が主催した小学生の体験入学等を行いました。地域への感謝の気持ちをボランティア清掃や夏祭りのお手伝い、吹奏楽部・ギターマンドリン部の高齢者施設での慰問演奏や公民館の記念式典参加など通じて表すことができました。生徒と教師が地域との関わりを実感した時間を持つことができました。



今年度のまとめ

○自分たちで、集会を開き、行事を創り上げ成功させて、自分たちで自主的に活動することが自信につながり、生徒会本部やリーダーの育成につながりました。

○福祉体験・職場体験学習・IT サポート等地域ボランティアの活用が広がり、生徒と地域の交流も深まりました。地域で学んだことは、自分たちの将来の職業を考える指針となっている。事後学習の発表会は、1年生も参加し、自分たちで工夫したプレゼンを行うことで発信力とコミュニケーション力を高められました。

○地域主催の「防災フェスタ in 富南」に積極的に参画し、防災意識を高めました。

来年度に向けて

・継続開催される「防災フェスタ in 富南」への参画を通して、中学2年生を中心に防災リーダーを育成し、地域と一緒に活動するだけでなく災害時には、戦力となり得るように取り組みます。

・本校生徒の課題である「コミュニケーション力」を高める取組を進めていくとともに、「豊かな心」「積極性」「規範意識」の育成を目指して、生徒自らで生徒会活動や学校行事をより練り上げます。

テーマ

いきいきワクワク富南タイム

目標

『人とふれあい地域とつながる』をコンセプトに地域環境を生かした体験重視と、読書を通じた情操力の向上を目指す。

今年度の取組紹介

本校はこれまで、学校周辺に田畑が多く残っているという地域の特性を生かした体験活動を実施することにより、地域のかたとのふれあいを通して豊かな人間性の育成を図ってきました。自分たちが生活する地域社会を大切に、そして積極的に関わり、体験活動を通して学ぶ楽しさを味わうことが、地域を愛する心やより良い生き方・考え方を身につけることができると考え、取組を進めてきました。



5年生は、地域の農業をされている地域ボランティアの指導と協力のもと、米作りに取り組みました。地域の方に、田おこしの必要性、苗づくりの難しさ、そして代かきの大切さなどをていねいに教わり、ほとんどの児童が初体験の田植にも挑戦しました。地域の方と一緒に苗を、ひとつひとつていねいに植えました。夏休み中の草取りや水の管理にも地域の方の協力を得ながら取り組み、秋には見事に実った稲を収穫することができました。収穫祭には、お世話になった地域の方をお招きして「お米パーティー」を開き、収穫したお米でおにぎりを作り、おいしくいただくことができました。地域の方々への感謝の気持ちと、一粒一粒のお米を大切に作る心が育ちました。

今年度のまとめ

このように、「地域の環境を生かした体験活動」「読書環境の充実」「自主的・継続的な体力向上」を柱に、学校・保護者・地域が協働して様々な取組を推進してきました。その結果、子どもたちに自ら活動する楽しさを体感させ、生きる力と豊かな情操力を育てることができました。また、図書の充実を図ることで、読書活動が活発になり子どもたちの読書量も増やすことができました。さらに、図書ボランティア（ファンタジタイム）の方の読み聞かせを通して交流することで、教育活動の充実を図ることができました。

来年度に向けて

地域との連携による子どもの育成をテーマとし、事業を推進してきました。地域の様々な場面で活躍されている方々との支援を受けながら交流を行い、学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育てることができました。今後、学校と地域との連携をさらに強化するために、コーディネーターやボランティアの方々と教職員の交流を深め、地域との輪が一層広がっていくようにしていきたいと考えています。

テーマ

仲よく、楽しく、希望あふれる碓っ子

目標

子どもたちを取り巻く学習環境の向上・整備や地域の方々との豊かな体験活動を通して、「仲よく、楽しく、希望あふれる碓っ子」を育む。

今年度の取組紹介

読み聞かせに本格的に取り組んで2年が経ちました。図書準備室での読み聞かせ「わくわくお話タイム」は毎月2回の活動日の中休みに実施しました。読み聞かせを楽しみにしている子が多くおり、どの子も食い入るように本を見つめ、集中して聞き入っていました。ボランティアの方々は新刊図書のカバー掛けや傷んだ図書の補修のほか、新刊図書の発掘など、意欲的に取り組んでいただきました。

校内環境整備事業として、中庭の芝生化に取り組みました。7月に子どもたちは一人一苗を植えました。夏休みの養生期間後、2学期には殺風景だった中庭が青々とした芝生で埋め尽くされました。裸足になって芝生を走り回ったり、転げ回ったりして芝生の感触を楽しんでいました。他にも花の苗を春に向けてプランターに植えました。

今年度も各学年の豊かな体験活動に学校評議員の方々をお招きして実施しました。子どもたちの生き生きと活動する姿を見ていただくことができました。



今年度のまとめ

豊かな人間性の育成は、本校保護者および地域の方々の強い願いです。その大きな手だてとなる読書活動推進のための図書ボランティア活動は学校教育環境の充実に多大な功績をのこしました。子どもたちが読書をより親しめるよう、読書環境は順調に整備されてきています。読み聞かせの「わくわくお話タイム」を楽しみにしている子どもたちも増えてきています。

米作り体験活動は地域の方も子どもたちとの触れ合いを楽しみにされており、子どもたちも地域の方々から米にまつわる話を聞き、感心したり質問をしたりして触れ合う場面が多く見られました。豊かな体験活動に、地域の学校評議員の方々に参加していただき、様々な学年の教室外の姿を見ていただくことができました。

来年度に向けて

次年度以降もボランティアの方々の活動が円滑に進めていただけるよう、受け入れ体制の整備をし、学校と地域との連携をさらに深めていきます。学年の豊かな体験活動に、学校評議員の方々をお招きします。今後も校内環境整備に向け取り組んでいきます。

テーマ

ぐんぐん伸びよう笑顔いっぱいタイム

目標

ゲストティーチャーを招聘したり地域のボランティアの協力を得たりして、3歳児からの体づくりや絵本の読み聞かせを継続して行い、活動や生活への意欲的な態度・豊かな心の育成を目指す。また、保護者参加活動を見直して、幼児期に必要な愛着形成を図り、家庭の教育力向上につなぐ。

今年度の取組紹介

子どもと保護者が共に楽しく活動する機会として、本年度は、『親子木工制作』を実施しました。子ども達の遊びや活動に必要なテーブルやままごととサークル、ベンチ等の制作を、地域のゲストティーチャーの指導を受けながら、60名以上の保護者の協力を得て行いました。子ども達は、グループに分かれて一生懸命制作してくださっている様子を見て、「すごいなあ」「電気ドリルもある」等と興味津々でした。途中から子ども達も参加し、5歳児は、保護者に釘打ちの仕方やのこぎりの引き方等を教えてもらって真剣な表情で取り組んでいました。4歳児は、作品をサンドペーパーで磨きあげました。出来上がった作品を見て、子ども達は自分たちも活動に参加できた喜びを、保護者は協力して子どものために作り上げたという達成感を味わうことができました。この経験をきっかけに、子ども達が友達と一緒に意欲的に木工遊びに取り組む姿が見られるようになりました。



サッカー教室は、体づくりに向けた取組として、毎年継続して実施しています。コーチの指導のもと、子ども達は、ボールを蹴って生き生きと遊びます。教師や保護者にとっては、毎年実施することで、子ども達の体力や技能が向上していることを実感できる機会にもなっています。



今年度のまとめ

ゲストティーチャーによるサッカー教室は、子ども達が主体的に運動遊びに取り組むきっかけになっています。また、体づくりに向けた継続した取組により、大きな怪我が減ったり風邪をひきにくくなったりなどといった効果も表れてきています。ゲストティーチャーの方とは、子どもの変化やよりよい実施の方法について意見交換ができるようになってきています。『親子木工制作』は、楽しく活動する中で、保護者同士が仲良くなったり、子どもたちが保護者に対してあこがれの気持ちをもったり、「自分たちにもできた」という喜びを感じることができる機会となりました。作品が日々の遊びや活動の中で大いに活用できていることも、保護者の満足感につながっています。

来年度に向けて

幼児期からの体力づくりと豊かな心の育成のためには、引き続きゲストティーチャー、ボランティアによる運動遊びや栽培活動、絵本の読み聞かせ等を行います。また、奈良に伝わる『わらべうた遊び』を年間通して実施し、親子の愛着形成を図ったり、地域の方々とのふれあい活動に活かせる取組の工夫をしていきます。

テーマ

かがやく園児・心ときめく園児

目標

かがやく園児・心ときめく園児の育成をめざし、園児たちが様々な「ひと・もの・こと」との触れ合いや関わりを深めることによって、豊かな心ややる気を育み、心身ともに健康で安全な生活をする力を身につけさせる。

今年度の取組紹介

地域の人々との触れ合いを深めるために年間を通して、様々な年代の方との出会いが生まれるように計画した“親子で楽しもうヒップホップ体操”では、講師の方に来ていただき、保護者と共に体を動かす楽しさや友達・保護者と触れ合う喜びを味わいました。地域の方を講師に招いてのお茶会では、保護者と共に参加し親子で落ち着いた雰囲気の中、礼儀作法を学んだり、日本の伝統文化を感じたりすることができました。世界遺産学習として、地域の方や役員の方と共に東大寺に行き、講師の方のお話を聞いたり、大仏殿の中を案内していただいたりしました。普段は入れないところにも入れていただき世界遺産に触れることができ、奈良の良さを再確認することができました。玄関に行事・園生活の写真を大きく貼付しました。“園長先生の写真屋さん”のコーナーを昨年に引き続き設置していますが、「園での様子がよくわかり楽しみにしています。」「子ども達の自然な表情がいいですね。」などの意見をいただき楽しみにされています。園生活の様子を知ってもらおうと共に、幼稚園教育への啓発につながりました。



今年度のまとめ

未就園児・保育園児・小学生・中学生・地域の方・年長者の方・講師の方等幅広い年代の方々とのふれあいは、一緒に活動することの楽しさや学びへの喜びにつながりました。また、様々な人々とのふれあいを通して、触れ合う温もりを感じ、自分たちの住む町を大切にしようという気持ちが芽生え、人に対する優しさや思いやりの心、人とかかわる力が育ってきました。講師の方を招いてのお茶会・お話の会・サッカー教室・リトミック体操・ふれあい観劇会等地域の方の教育力を生かしながら楽しい活動を広げることができました。又、未就園児保育では、地域のお話し会の方の協力を得て発達や季節に合った絵本の読み聞かせやリトミック教室を実施しました。また、作品展等での交流では、園児たちが未就園児に優しくかかわり思いやりの姿が見られました。

来年度に向けて

地域の方々の教育力を十分活用しながら、豊かな心ややる気を持ち、生き生きと生活する園児を目指して、計画的・継続的に取組む必要があると感じました。また、世界遺産や身近な歴史遺産に触れる取組も大事にしながら、来年度も計画したいです。